

公民館事業の報告

公民館名	事業名	
本館	なし	
貫井南分館	成人教育事業	成人学校「楽しくトレッキング ～都民の森・新緑編～」
東分館	少年教育事業	「ひがし子ども囲碁教室」
	成人教育事業	市民講座「シルク素材を応用した再生医療の新たな展開」
	公民館・図書館連携事業	「学びのトビラ 夏目漱石『草枕』の世界～「非人情」とは何か～」
緑分館	なし	
貫井北分館	青年教育事業	青少年教育講座 若者による自主講座「森の縁日～お祭り屋台で木とふれあおう！～」
		青少年教育講座 若者による自主講座「～森に関するクイズに正解してビンゴを目指せ～森のガラボンビンゴ！」
		青少年教育講座 世代間交流の推進「きたまちキッチン パティシエのお菓子教室」
		青少年教育事業 若者による自主講座「笑いでコロナを吹き飛ばそう！落語口演と落語講習会」
		青少年教育講座 健全育成事業「〈推し〉deトーク～なぜ〈推し〉に心ひかれるのか。～」
		青少年教育講座 若者による自主講座「法政大学将棋部が教える将棋体験教室」
	成人教育事業	市民講座「きたまちカフェ～認知症を予防しよう～」
		市民講座 地域福祉のための講座「認知症の家族介護って？ひとりで悩まずみんなで考えよう」
		成人学校「きたまちセンターの花サポーター講座～やさしい色に癒されるコンテナガーデン～」
		成人学校 健康づくり講座「手芸で脳トレ！クロスステッチ刺繍を楽しもう」
		成人学校健康づくり講座「てまえ味噌づくり」
		成人学校 人権教育講座「インドから学ぶ共生のあり方～カーストと生活世界～」
		成人学校 子ども・子育て支援「兄弟・姉妹・一人っ子のチャイルドケア～子育てを乗り切るコツ～」
	男女共同参画教育事業	男女共同参画講座「美味しいスペシャルティコーヒーの淹れ方講座」

公民館事業報告書						令和6年度	
事業名	成人学校 「楽しくトレッキング ～都民の森・新緑編～」				担当者	伊藤 修	
					職層	主事	
参加予定数	12人		予算枠		募集方法	市報、月刊こうみんかん、チラシ、ポスター、ホームページ、X(旧Twitter)	
延べ人数	22人		10.4.2.6(成人教育に要する経費)				
出席率	91.7%		予算措置		受付方法	往復はがきとEメール (多数抽選)	
全回出席	—		総額 16,000円(本来は2回分だが、講師と協議の上で1回分としている)				
男女別	男	2人	内訳 8,000円×2時間×1回×1人 ＝16,000円		定員	12人	
	女	10人			対象	市内在住、在勤、在学の18歳以上の方で、2時間以上歩ける方	
担当企画実行委員			齊藤美恵子委員				
年代別	9歳以下	0人	保育		町別	東町	0人
	10～19歳	0人	なし			梶野町	0人
	20～29歳	0人	保育予算			関野町	0人
	30～39歳	0人	なし			緑町	0人
	40～49歳	0人	準備会			中町	1人
	50～59歳	1人	なし			前原町	4人
	60～69歳	9人	アンケート回収数			本町	0人
	70～79歳	1人	12/12			桜町	0人
	80～89歳	1人				貫井北町	2人
	90歳以上	0人				貫井南町	5人
	不明	0人				市外	0人

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	4/19	金	14:00～16:00	楽しくトレッキング～都民の森・新緑編～ 事前学習	座学	越前屋 博さん(北多摩山の会)	公民館貫井南分館学習室A	10人
2	4/23	火	8:00～17:00	楽しくトレッキング～都民の森・新緑編～	野外	越前屋 博さん(北多摩山の会)	都民の森	12人
3								
4								
5								
6								
7								
8								

事業のねらい・位置づけ等	本格的な登山ではなく、初歩的なトレッキングを学びながら、同じ趣味の仲間づくりを目的とする。
特記事項	昨年度からメール申込を取り入れたが、抽選終了後に応募に関する問い合わせが2件あった。チラシや月刊こうみんかん、HPには注意事項を載せていたが、それでもこういった事が起こってしまう。

公民館事業報告書						令和5年度	
事業名		少年教育事業「ひがし子ども囲碁教室」			担当者	浅香 佳代子	
					職層	NPO法人 職員	
参加者数		27	予算枠		募集方法	市報3月1日号、月刊こうみんかん3月号、チラシ、ポスター、市HP、東セクターHPほか	
延べ人数		767	少年教育事業				
出席率		59%	予算措置		受付方法	往復はがきで受付 多数抽選	
全回出席		0	総額 96,000円				
男女別		男	17	講師謝礼 @8,000×2時間×3回×2人	定員	30	
		女	10		対象	市内在住、在学の小学生	
担当企画実行委員			なし				
年代別	9歳以下	16	保育	町別	東町	17	
	10～19歳	11	なし		梶野町	4	
	20～29歳		保育予算		関野町		
	30～39歳		なし		緑町	3	
	40～49歳		準備会		中町	2	
	50～59歳		なし		前原町		
	60～69歳		アンケート回収数		本町		
	70～79歳		なし		桜町		
	80～89歳				貫井北町	1	
	90歳以上				貫井南町		
	不明				市外		

[illegible]

公民館事業報告書						令和5年度	
事業名	市民講座「シルク素材を応用した再生医療の新たな展開」				担当者	倉本 恵子	
					職層	NPO法人 職員	
参加者数	19		予算枠		募集方法	市報12月1日号、月刊こうみんかん12月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHPほか	
延べ人数	37						
出席率	97%		予算措置		受付方法	申込順	
全回出席	18						
男女別	男	8	内訳 講師謝礼@12,000×2時間×2回		定員	30人	
	女	11			対象	市内在住・在勤・在学の方	
担当企画実行委員			矢部 響子 渡部 靖				
年代別	9歳以下		保育		町別	東町	8
	10～19歳		なし			梶野町	1
	20～29歳		保育予算			関野町	
	30～39歳		なし			緑町	2
	40～49歳		準備会			中町	3
	50～59歳		なし			前原町	
	60～69歳	4	アンケート回収数			本町	3
	70～79歳	12	18／18			桜町	
	80～89歳	3				貫井北町	1
	90歳以上					貫井南町	1
	不明					市外	

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	1/11	木	午前10時～正午	再生医療と材料科学	座学	中澤 靖元	集会室A・B	19
2	1/18	木	午前10時～正午	シルク再生医療材料の創製と血管再生の可能性	座学	中澤 靖元	集会室A・B	18
3								
4								

事業のねらい・位置づけ等	再生医療とは、ケガや病気で失われたからだの機能を元通りに戻すために、人間のからだを持っている「再生する力」を利用し、細胞や組織、臓器の再生を行うことである。シルク素材に着目した再生医療について学習する機会を提供することを通して、現代的課題への理解を深めることを目的とする。
特記事項	

公民館事業報告書							令和5年度	
事業名	公民館・図書館連携事業「学びのトビラ 夏目漱石『草枕』の世界～「非人情」とは何か～」				担当者	倉本 恵子（公民館職員）、 武井 真（図書館職員）		
					職層	NPO法人 職員		
参加者数	19		予算枠			募集方法	市報2月15日号、月刊 こうみんかん2月号、チ ラシ、ポスター、市H P、東センターHPほか	
延べ人数	19		公民館・図書館連携事業					
出席率	79%		予算措置			受付方法	申込順	
全回出席	19		総額 24,000円					
男女別	男	13	内訳 講師謝礼@12,000×2時間×1回			定員	24人	
	女	6				対象	市内在住・在勤・ 在学の方	
担当企画実行委員								
年代別	9歳以下		保育		町別	東町	6	
	10～19歳		なし			梶野町		
	20～29歳		保育予算			関野町		
	30～39歳		なし			緑町	3	
	40～49歳	2	準備会			中町	3	
	50～59歳		なし			前原町	2	
	60～69歳	2	アンケート回収数			本町	4	
	70～79歳	8	19／19			桜町		
	80～89歳	6				貫井北町		
	90歳以上					貫井南町	1	
	不明	1				市外		
	回	月日	曜	時間		テーマ・学習内容等	学習方法	講師
1	3/16	土	午後2時～午後4時	夏目漱石の代表作『草枕』を中心に上げながら、作品の魅力や鑑賞の方法について座学形式で学ぶ。	座学	松下 浩幸	学習室室A・B	19
事業のねらい・位置づけ等		文学作品を愉しむことは、言葉の美しさに触れながら感性を磨くと共に、自身とは異なった視点から物事を見ることに繋がる。そして、名作といわれる作品は教科書を通して出会うこともあり、世代を超えて読み継がれているものもある。今回、教科書で一部紹介されている『草枕』を中心に上げながら、夏目漱石の作品の魅力や鑑賞の方法を学ぶことを通して、教養の向上に寄与することを目的とする。						
特記事項		応募多数の為、定員を増やし開催した。						

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	3/16	土	午後2時 ～午後4 時	夏目漱石の代表作『草枕』を中心に上げながら、作品の魅力や鑑賞の方法について座学形式で学ぶ。	座学	松下 浩幸	学習室室 A・B	19

事業のねらい・位置づけ等	文学作品を愉しむことは、言葉の美しさに触れながら感性を磨くと共に、自身とは異なった視点から物事を見ることに繋がる。そして、名作といわれる作品は教科書を通して出会うこともあり、世代を超えて読み継がれているものもある。今回、教科書で一部紹介されている『草枕』を中心に上げながら、夏目漱石の作品の魅力や鑑賞の方法を学ぶことを通して、教養の向上に寄与することを目的とする。
特記事項	応募多数の為、定員を増やし開催した。

事業名	青年教育事業 青少年教育講座 若者による自主講座 「森の縁日～お祭り屋台で木とふれあおう！～」			担当者	伊藤 智代子	
				職層		
参加者数	13		予算枠	募集方法	市報、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、公民館 貫井北分館X	
延べ人数	－		16,000			
出席率	－		予算措置	受付方法	Eメール	
全回出席	13		総額 16,000			
男女別	男	6	内訳 講師謝礼	定員	16人	
	女	7		対象	市内在住・在学の小学生	
担当企画実行委員						
年代別	9歳以下	12	保育	町別	東町	0
	10～19歳	1	なし		梶野町	0
	20～29歳		保育予算		関野町	0
	30～39歳		なし		緑町	0
	40～49歳		準備会		中町	0
	50～59歳		なし		前原町	0
	60～69歳		アンケート回収数		本町	1
	70～79歳		13/13		桜町	1
	80～89歳				貫井北町	7
	90歳以上				貫井南町	2
	不明				市外	2

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	1/28	日	14:00-16:00	お祭りの屋台形式で、森の間伐活動について学び、射的で木を伐採して森にひかりをとどけること、森のはたらきをパズル釣りや、光玉を土の下に届けるボードゲームなどを通して、森での間伐活動を知る。	体験学習	宮村 連理さん（東京学芸大学附属小金井中学校教諭）	創作室	13人

事業のねらい・位置づけ等	楽しくクイズで森や間伐について学び、木製品を作りながら、学年や学校を超えた交流で親睦を深める。また若者当事者が自主講座を企画・実施を通してチームで協力・連携することの意義を学ぶ。
特記事項	・企画実施は、GTEラボ 森の仲間たち（東京学芸大学附属小金井中学校 2年生 小畑美侑、鵜川史瑛、高橋七緒、二宮愛紺、保立希乃心、根本彩白、吉田理沙子） ・チラシを小金井第四小、本町小、第二小、東京学芸大学付属小金井小学校に児童数配布。35人から応募があり定員15人とキャンセル待ち5人を抽選。 ・アンケート結果から「学校で配布されたチラシ」をみて応募した参加者が13人中9人で、小学生対象の場合、市報より効果があった。 ・開催2日前の1月26日から発熱やインフルエンザ罹患のため4人の方からキャンセルの連絡があった。キャンセル待ちの方に連絡し、当日の発熱1人、無断欠席1人で13人で実施。

公民館事業報告書						令和5年度	
事業名	青年教育事業 青少年教育講座 若者による自主講座 「～森に関するクイズに正解してビンゴを目指せ～森のガラポンビンゴ!」				担当者	伊藤 智代子	
					職層		
参加者数	9		予算枠		募集方法	市報、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、公民館 貫井北分館X	
延べ人数	－		16,000				
出席率	－		予算措置		受付方法	Eメール	
全回出席	9		総額 16,000				
男女別	男	5	内訳 講師謝礼		定員	16人	
	女	4			対象	市内在住・在学の小学生	
担当企画実行委員							
年代別	9歳以下	7	保育		町別	東町	0
	10～19歳	2	なし			梶野町	0
	20～29歳		保育予算			関野町	0
	30～39歳		なし			緑町	0
	40～49歳		準備会			中町	0
	50～59歳		なし			前原町	0
	60～69歳		アンケート回収数			本町	4
	70～79歳		9/9			桜町	2
	80～89歳					貫井北町	2
	90歳以上					貫井南町	1
	不明					市外	0

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	1/28	日	10:00-12:00	森のガラポンビンゴシート（9マス）に1から30までの自分の好きな数字を書き込み、木製のガラポンを回してビンゴゲームと出た番号の森に関するクイズを楽しむ。ビンゴの景品は間伐材を利用し、1回目は企画が作成したキーフォルダ、2回目の景品は参加者がメモスタンド、カレンダー、マグネットの3種類から選び作成。	体験学習	宮村 連理さん（東京学芸大学附属小金井中学校教諭）	創作室	9人

事業のねらい・位置づけ等	楽しくクイズで森や間伐について学び、木製品を作りながら、学年や学校を超えた交流で親睦を深める。また若者当事者が自主講座を企画・実施を通してチームで協力・連携することの意義を学ぶ。
特記事項	- 企画実施は、GTEラボ ガラポンビンゴチーム（東京学芸大学附属小金井中学校 2年生 矢島百葉、熊谷碧、大野遥香、築地真帆、鈴木友結、松本琴葉、1年生 井出菱誠、宮澤真結） - チラシを小金井第四小、本町小、第二小、東京学芸大学付属小金井小学校に児童数配布。35人から応募があり定員15人とキャンセル待ち5人を抽選。 - アンケート結果から「学校で配布されたチラシ」をみて応募した参加者が9人中5人で、小学生対象の場合、市報より効果があった。 - 開催2日前の1月26日から発熱やインフルエンザ罹患のため6人の方からキャンセルの連絡があった。キャンセル待ちの方に連絡したが、当日の連絡もあり9人で実施しました。

公民館事業報告書							令和5年度	
事業名	青年教育事業 青少年教育事業 若者による自主講座「笑いでコロナを吹き飛ばそう！落語口演と落語講習会」				担当者	伊藤 智代子		
					職層			
参加者数	4	予算枠			募集方法	市報、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、公民館貫井北分館X		
延べ人数	4	14,000						
出席率	100%	予算措置			受付方法	電話、メール、公民館貫井北分館窓口		
全回出席	-	総額 14,000						
男女別	男	2	内訳 講師謝礼			定員	16人	
	女	2				対象	市内在住・在勤・在学の方	
担当企画実行委員		なし						
年代別	9歳以下		保育	町別	東町	0		
	10～19歳		なし		梶野町	0		
	20～29歳		保育予算		関野町	0		
	30～39歳				緑町	0		
	40～49歳	1	準備会		中町	0		
	50～59歳	1	なし		前原町	1		
	60～69歳		アンケート回収数		本町	1		
	70～79歳	1	3/4		桜町	0		
	80～89歳	1			貫井北町	1		
	90歳以上				貫井南町	1		
	不明				市外	0		
回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	3/10	日	14:00-16:00	落語を聴いた後、せんすや手ぬぐいの使い方を学び、小噺を覚え落語家体験する。	体験学習	東京農工大学落語研究会	生活室AB	4人
事業のねらい・位置づけ等	江戸時代から現在まで伝承される話芸の落語の基本を楽しく習得しながら、大学生と地域の方々と世代間交流を促進する。また若者当事者が企画・実施を通してチームで協力・連携することの意義を学ぶ。							
特記事項	企画・実施は、東京農工大学落語研究会5人（坂本 美桜、飯島 隆斗、板山 青永、庄子 公基、坪野 知）。							

公民館事業報告書							令和5年度	
事業名	青年教育事業 青少年教育事業 若者による自主講座「笑いでコロナを吹き飛ばそう！落語口演と落語講習会」				担当者	伊藤 智代子		
					職層			
参加者数	4	予算枠			募集方法	市報、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、公民館貫井北分館X		
延べ人数	4	14,000						
出席率	100%	予算措置			受付方法	電話、メール、公民館貫井北分館窓口		
全回出席	-	総額 14,000						
男女別	男	2	内訳 講師謝礼			定員	16人	
	女	2				対象	市内在住・在勤・在学の方	
担当企画実行委員		なし						
年代別	9歳以下		保育	町別	東町	0		
	10～19歳		なし		梶野町	0		
	20～29歳		保育予算		関野町	0		
	30～39歳				緑町	0		
	40～49歳	1	準備会		中町	0		
	50～59歳	1	なし		前原町	1		
	60～69歳		アンケート回収数		本町	1		
	70～79歳	1	3/4		桜町	0		
	80～89歳	1			貫井北町	1		
	90歳以上				貫井南町	1		
	不明				市外	0		
回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	3/10	日	14:00-16:00	落語を聴いた後、せんすや手ぬぐいの使い方を学び、小噺を覚え落語家体験する。	体験学習	東京農工大学落語研究会	生活室AB	4人
事業のねらい・位置づけ等	江戸時代から現在まで伝承される話芸の落語の基本を楽しく習得しながら、大学生と地域の方々と世代間交流を促進する。また若者当事者が企画・実施を通してチームで協力・連携することの意義を学ぶ。							
特記事項	企画・実施は、東京農工大学落語研究会5人（坂本 美桜、飯島 隆斗、板山 青永、庄子 公基、坪野 知）。							

0

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	3/10	日	14:00-16:00	落語を聴いた後、せんすや手ぬぐいの使い方を学び、小噺を覚え落語家体験する。	体験学習	東京農工大学落語研究会	生活室AB	4人

事業のねらい・位置づけ等	江戸時代から現在まで伝承される話芸の落語の基本を楽しく習得しながら、大学生と地域の方々と世代間交流を促進する。また若者当事者が企画・実施を通してチームで協力・連携することの意義を学ぶ。
特記事項	企画・実施は、東京農工大学落語研究会 5 人（坂本 美桜、飯島 隆斗、板山 青永、庄子 公基、坪野 知）。

公民館事業報告書					令和5年度		
事業名 青年教育事業 青少年教育講座 健全育成事業 「<推し>de トーク～なぜ〈推し〉に心ひかれるのか。～」			担当者		伊藤 智代子		
			職層				
参加者数		7	予算枠		募集方法 市報、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館X、小金井市立中学校全5校の全生徒チラシ配布		
延べ人数		7	21,000				
出席率		－	予算措置		受付方法 メール		
全回出席		－	総額 21,000				
男女別		男	2	内訳 講師謝礼 21,000		定員	16人
		女	5			対象	市内在住・在勤・在学の中学生以上 25歳までの方
担当企画実行委員			なし				
年代別	9歳以下	0	保育		町別	東町	0
	10～19歳	3	なし			梶野町	0
	20～29歳	4	保育予算			関野町	0
	30～39歳		0			緑町	1
	40～49歳		準備会			中町	0
	50～59歳		なし			前原町	0
	60～69歳		アンケート回収数			本町	1
	70～79歳		7 / 7			桜町	0
	80～89歳					貫井北町	2
	90歳以上					貫井南町	0
	不明					市外	3

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	3/17	日	14-16時	参加者それぞれの「推し」を語り合い、なぜ「推し」に心ひかれるのか、また「推し」とは何かを話し合い、参加者間で想像・創造していくワークショップ。	講義	小西 公大さん（東京学芸大学 准教授）	学習室C・D	7
事業のねらい・位置づけ等		参加者それぞれの〈推し〉を語り合う。また、人の好みや楽しみ方など、好きなところから生き方やその人らしさを見出し、多様性の理解に繋げる。						
特記事項		・チラシは、東京学芸大学3年の高橋摩耶さんが、講座の主旨や対象者をイメージして作成。 ・定員は16人に設定したが、対話型の講座は、定員を8人ぐらいが交流を深めることができると思われる。 ・参加者は中学生、高校生、大学生、20歳代社会人で、さまざまな世代がいることで異なる視点から〈推し〉を捉えることができた。 ・今回の講座では、第1部が〈推し〉への思いと日々の生活と〈推し〉、第2部がグループワークで、〈推し〉って何だろう？をテーマに話し合い。最後は、全体の総括を含めて〈推し〉の課題として、①生きがいもすべて〈推し〉にかけて依存状態になってしまう、②〈推し〉という活動が義務になってしまい、自分の活動が支配されるなど、推し疲れとしてまとめ、〈推し〉との上手な付き合い方について考えた。						

公民館事業報告書

令和5年度

事業名	市民講座「きたまちカフェ～認知症を予防しよう～」		担当者	野津 幸代	
			職層		
参加者数	53	予算枠		募集方法	市報4月1日号、以降3ヶ月に一度、チラシなど
延べ人数	208				
出席率		予算措置		受付方法	当日直接
全回出席					
男女別	男	16	定員		なし
	女	37	対象		どなたでも

担当企画実行委員			塚田昭子、原幸恵、森千尋			
年代別	9歳以下		保育	町別	東町	1
	10～19歳				梶野町	2
	20～29歳		保育予算		関野町	
	30～39歳				緑町	4
	40～49歳	1	準備会		中町	
	50～59歳	1			前原町	4
	60～69歳	5	アンケート回収数		本町	14
	70～79歳	23			桜町	
	80～89歳	20	アンケート実施せず		貫井北町	21
	90歳以上	3			貫井南町	5
	不明				市外	2

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	4/3	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	15
2	5/1	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	14
3	6/5	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	17
4	7/3	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	17
5	8/7	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	14
6	9/4	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	16
7	10/2	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	18
8	11/6	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	14
9	12/4	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	19
10	1/15	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	24
11	2/5	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	21
12	3/4	月	10：00～12：00	おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁	対話など		生活室A・B、ロビー	19

事業のねらい・位置づけ等	認知症の方やその家族が気軽に相談ができ、安心して過ごせる場を作ること。地域の住民がだれでも参加でき、あたたかい交流が生まれる場を作ること。
特記事項	

公民館事業報告書

令和5年度

公民館事業報告書

令和5年度

事業名			市民講座 地域福祉のための講座「認知症の家族介護って？ひとりで悩まずみんなで考えよう」			担当者	野津 幸代		
						職層			
参加者数		10		予算枠			募集方法	3カ月に1度、市報、月刊こうみんかん	
延べ人数		34							
出席率				予算措置			受付方法	電話、メール	
全回出席				講師謝礼 96000円					
男女別	男	2					定員	8	
	女	8					対象	現在認知症の家族介護をしている方	
担当企画実行委員				原 幸恵、森 千尋					
年代別	9歳以下			保育			町別	東町	
	10～19歳							梶野町	
	20～29歳			保育予算				関野町	
	30～39歳							緑町	1
	40～49歳			準備会				中町	2
	50～59歳	4						前原町	2
	60～69歳	1		アンケート回収数				本町	1
	70～79歳	1		実施せず				桜町	1
	80～89歳	4						貫井北町	1
	90歳以上							貫井南町	2
不明							市外		

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	4/20	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	3
2	5/18	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	3
3	6/15	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	1
4	7/20	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	3
5	8/17	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	4
6	9/21	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	4
7	10/19	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	5
8	11/16	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	2
9	12/21	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	4
10	1/18	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	2
11	2/15	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	1
12	3/21	木	午前10時 ～正午	認知症介護の座談会	対話	松尾 隆義 さん	学習室C・ D	2

事業のねらい・位置づけ等	認知症の介護者が地域で孤立しない様に、参加者同士情報共有し、つながる場をつくる。
特記事項	

公民館事業報告書

令和5年度

事業名			成人学校「きたまちセンターの花サポーター講座～やさしい色に癒されるコンテナガーデン～」			担当者		伊藤 智代子			
						職層					
参加者数			14		予算枠		募集方法		市報、月刊こうみんかん8月号、ポスター・チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館X		
延べ人数			87		323,000円						
出席率			62%		予算措置		受付方法		往復はがき、Eメール (多数抽選)		
全回出席			4		総額 239,764円						
男女別			男		1		定員		16人		
			女		13						
					内訳 講師謝礼 96,000円		対象		市内在住・在勤・在学の方		
					交通費等 円						
					花・用具等 円						
担当企画実行委員			尾上 エミ子、原 幸子、森 千尋								
年代別	9歳以下				保育		町別	東町		1	
	10～19歳				なし			梶野町			
	20～29歳				保育予算			関野町			
	30～39歳				なし			緑町			
	40～49歳				準備会			中町		1	
	50～59歳		1		なし			前原町		4	
	60～69歳		5		アンケート回収数			本町		3	
	70～79歳		6		9/14			桜町			
	80～89歳		2		<td colspan="2">貫井北町</td> <td colspan="2">2</td>			貫井北町		2	
	90歳以上				<td colspan="2">貫井南町</td> <td colspan="2">3</td>			貫井南町		3	
	不明				<td colspan="2">市外</td> <td colspan="2"></td>			市外			

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	9/8	金	10:00～12:00	オリエンテーションと土の再生(実習)→雨天のため延期	実習	—	—	—
2	10/6	金	10:00～12:00	オリエンテーションとコンテナ栽培の基本	座学	尾路紀恵さん(グリーンアドバイザー)	創作室	12
3	10/20	金	10:00～12:00	堆肥・肥料の混ぜ込みで土づくり	実習	なし	きたまちセンター 駐輪場	12
4	11/13	金	10:00～12:00	きたまちセンターの植物 植え込み実習	実習	尾路紀恵さん(グリーンアドバイザー)	きたまちセンター 駐輪場	13
5	11/17	金	8:00～16:00	野外研修	野外研修	玉熊祐子さん(環境学習リーダー)	国営武蔵丘陵森林公園	8
6	12/11	月	10:00～12:00	フラワーアレンジメント	実習	森このみさん(生花店主)	創作室	9
7	1/12	金	10:00～12:00	代表的な病虫害	座学	尾路紀恵さん(グリーンアドバイザー)	創作室	10

8	2/2	金	10:00— 12:00	寄せ植えのデザイン	座学	尾路紀恵さん (グリーンアドバイザー)	創作室	10
9	3/8	金	9:00—16:00のうち希望する1時間30分	私の寄せ植えづくり	実習	尾路紀恵さん (グリーンアドバイザー)	オリーブガーデン	4
10	3/15	金	10:00— 12:00	土の再生と講座振り返り	座学	尾路紀恵さん (グリーンアドバイザー)	創作室	9

事業のねらい・位置づけ等	きたまちセンターを飾る、花壇や鉢植えのメンテナンスをする花サポーターの養成。また、自宅でも応用できる鉢を使った寄せ植えと庭造りの簡単な方法を学び、実習や野外研修などを通じて受講者間の交流をはかる。
特記事項	・参加者は体調不良で70歳代1人、80歳代1人が途中から辞退。講座終了の水やりなどは、4班で週ごとに実施。 ・第1回目(9/8)は、台風13号のための参加者の安全のため延期。 ・第5回目(11/17)の野外研修は、雨の中の野外研修でしたが、園内ガイドの玉熊学芸員の説明やワークショップが充実しており、参加者には大変好評。引率は、原田職員、担当企画実行委員 尾上委員、原委員、森委員のほかに、塚田委員と土屋委員も同行。参加者や年配の企画実行委員の安全確保に協力してくれました。 ・第9回目(3/8)は、実習場所が当館ではなく雪の予報のため、参加者の安全に配慮し、希望者には実習を延期するように対応。

公民館事業報告書							令和5年度	
事業名		成人学校健康づくり講座「てまえ味噌づくり」			担当者	野津 幸代		
					職層			
参加者数	12		予算枠		募集方法	市報12月15日号、チラシなど		
延べ人数								
出席率			予算措置		受付方法	往復はがき、Eメール		
全回出席								
男女別	男	12	講師謝礼 16,000円		定員	12		
	女				対象	市内在住、在勤、在学の中学生以上の男性		
担当企画実行委員			塚田昭子、土屋文雄、原幸恵					
年代別	9歳以下		保育	町別	東町	1		
	10～19歳				梶野町			
	20～29歳	1	保育予算		関野町			
	30～39歳				緑町	2		
	40～49歳	1	準備会		中町	1		
	50～59歳	1			前原町	1		
	60～69歳	4	アンケート回収数		本町	1		
	70～79歳	4			桜町	1		
	80～89歳	1	※アンケートは実施せず 口頭で感想を聞く		貫井北町	3		
	90歳以上				貫井南町	2		
	不明				市外			
回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	1/27	土	午後1時～4時	味噌づくり	実技	高槻 博子さん	生活室A・B	12
事業のねらい・位置づけ等		体に良いと言われている発酵食品「味噌」を作り、健康づくりに役立てる。参加者を男性に限定し、土曜日に開催することで利用者層を広げる。						
特記事項								

事業名	成人学校健康づくり講座「てまえ味噌づくり」		担当者	野津 幸代	
			職層		
参加者数	12	予算枠	募集方法	市報12月15日号、 チラシなど	
延べ人数					
出席率		予算措置	受付方法	往復はがき、Eメール	
全回出席					講師謝礼 16,000円
男女別	男	12	定員	12	
	女		対象	市内在住、在勤、在学の中学生以上の男性	

年代別	9歳以下		保育	町別	東町	1
	10～19歳				梶野町	
	20～29歳	1	保育予算		関野町	
	30～39歳				緑町	2
	40～49歳	1	準備会		中町	1
	50～59歳	1			前原町	1
	60～69歳	4	アンケート回収数		本町	1
	70～79歳	4			桜町	1
	80～89歳	1	※アンケートは実施せず 口頭で感想を聞く		貫井北町	3
	90歳以上				貫井南町	2
不明		市外				

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	1/27	土	午後1時～ 4時	味噌づくり	実技	高槻 博子 さん	生活室A・ B	12

事業のねらい・位置づけ等	体に良いと言われている発酵食品「味噌」を作り、健康づくりに役立てる。参加者を男性に限定し、土曜日に開催することで利用者層を広げる。
特記事項	

公民館事業報告書	令和5年度
----------	-------

令和5年度

事業名	令和５年度 成人学校 人権教育講座「インドから学ぶ共生のあり方～カーストと生活世界～」		担当者	原田 晴美
			職層	
参加者数	１９人	予算枠	募集方法	市報1月15日号、ポスター、チラシ、市ＨＰ、貫井北センターＨＰ、公民館 貫井北分館X
延べ人数	３７人	42,000		
出席率		予算措置	受付方法	1/22必着でメール、往復ハガキで申込み
全回出席		総額 42,000		
男女別	男	9人	定員	２０人
	女	10人		
		内訳 講師謝礼 42,000	対象	市内在住・在勤・在学の方

担当企画実行委員	尾上 エミ子、本多 隆志
----------	--------------

年代別（人）	9歳以下		保育	町別（人）	東町	3
	10～19歳		あり		梶野町	
	20～29歳	1	保育予算		関野町	
	30～39歳		15, 240		緑町	5
	40～49歳	4	準備会		中町	1
	50～59歳	3			前原町	3
	60～69歳	4	アンケート回収数		本町	1
	70～79歳	5	18/18		桜町	2
	80～89歳	2			貫井北町	1
	90歳以上				貫井南町	2
不明		その他		1		

[illegible]

公民館事業報告書						令和5年度	
事業名		令和5年度 成人学校 子ども・子育て支援 「兄弟・姉妹・一人っ子のチャイルドケア～子育てを乗り切るコツ～」			担当者	原田 晴美	
					職層		
参加者数	6 人	予算枠			募集方法	市報1月15日号、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、公民館貫井北分館ツイッター	
延べ人数	10 人	42,000					
出席率		予算措置			受付方法	1/15からメールで申込み	
全回出席		総額 42,000					
男女別	男	0 人	内訳 講師謝礼 42,000		定員	16 人	
	女	6 人			対象	市内在住・在勤・在学の小学生以下の保護者	
担当企画実行委員		塚田 昭子					
年代別（人）	9歳以下		保育	町別（人）	東町	2	
	10～19歳		なし		梶野町		
	20～29歳		保育予算		関野町		
	30～39歳	3			緑町	1	
	40～49歳	3	準備会		中町		
	50～59歳		なし		前原町	1	
	60～69歳		アンケート回収数		本町	1	
	70～79歳		4/4		桜町		
	80～89歳				貫井北町		
	90歳以上				貫井南町		
	不明				市外	1	

回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数
1	2/19	月	10-12時	兄弟（姉妹）・一人っ子のそれぞれの子育てについて	講義・GW	高城絵里子先生（ルーテル学院大学准教授）	学習室CD	6人
2	2/26	月	10-12時	兄弟（姉妹）とのコミュニケーションが難しいor子どもの発達が心配な時どうすればいい？	講義・GW		学習室CD	4人
事業のねらい・位置づけ等		日ごろの育児で疑問や悩みを抱えた保護者がリラックスした雰囲気の中で、子育てについて共に学び合いながら、参加者間で交流することを目的とします。						
特記事項		感染症のため欠席連絡が相次ぎ、1回目は申込8名中2名欠席のため6名参加、2回目は4名欠席のため4名の参加となった。						

公民館事業報告書							令和5年度		
事業名			男女共同参画事業 男女共同参画講座 「美味しいスペシャルティコーヒーの淹れ方講座」		担当者	伊藤 智代子			
					職層				
参加者数		14	予算枠		募集方法	市報、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、公民館貫井北分館X(旧ツイッター)			
延べ人数		14	14,000						
出席率		100%	予算措置		受付方法	Eメール			
全回出席		100%	総額 14,000						
男女別		男	6	内訳 講師謝礼 14,000		定員	16人		
		女	8 <th>対象</th> <td colspan="3">おおむね20歳以上40歳くらいまでの方</td>			対象	おおむね20歳以上40歳くらいまでの方		
担当企画実行委員			塚田 昭子						
年代別	9歳以下			保育		町別	東町	1	
	10～19歳			なし			梶野町	0	
	20～29歳		3	保育予算			関野町	1	
	30～39歳		7	0			緑町	1	
	40～49歳		4	準備会			中町	2	
	50～59歳			なし			前原町	0	
	60～69歳			アンケート回収数			本町	2	
	70～79歳			15/15			桜町	0	
	80～89歳						貫井北町	3	
	90歳以上						貫井南町	3	
	不明						市外	1	
回	月日	曜	時間	テーマ・学習内容等	学習方法	講師	場所	参加数	
1	2/4	日	15-17時	コーヒー豆の産地や種類、選び方、やコーヒーの淹れ方を学ぶ。参加者は、4つのグループに分かれて、メンバーと一緒にコーヒーの味や淹れ方を楽しむ。	体験講座	奈良 僚太 さん（コーヒーロースター）	生活室A・B	14	
事業のねらい・位置づけ等		おおむね20歳代から40歳までの方々が、大切な人に喜んでもらえるようなコーヒーの淹れ方を学ぶ。また、参加者同士、または講師と交流を深めることで、地域の居場所につなげる。							
特記事項		募集は16人に対し応募者17人、キャンセルが3人あり14人で開催。対象年代以外のお応募が17人あり、講座の目的を伝えて納得していただきました。またPRANKS LABのメンバー2人が、講座をサポートしてくれました。男女共同参画講座で実施することで、小金井市がめざす男女共同参画社会「男女が互いにその人権を尊重し、認め合い支え合いながら、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができ、また、一人ひとりが輝いて生きることができる社会」に、講座の様子やアンケート結果からつなげることができるように思われました。							

令和5年度